

第7回生涯学習推進基本計画策定委員会会議議事録

1 開催日

平成24年2月27日（月）午前10時～午前11時15分

2 会場

学習交流センター 2階 201 会議室

3 出席者（16人）

委員：久野弘幸、富樫佐智子、柴本靖子、谷端浩明、新谷千晶、小澤能子、東洋子 7人

市役所：事務局（市長、教育長、鈴木部長、鈴木課長、深津、福森）6人

連絡調整会議（塚本次長、柴本専門監、近藤専門監、深谷課長、深谷補佐、原田補佐）

6人

4 内容

(1) あいさつ

- ・久野市長
- ・久野委員長

(2) 議題

ア パブリックコメントについて（説明・深津）

- ・添付資料「生涯学習推進基本計画改訂版（案）のパブリックコメントの結果」により説明

イ 生涯学習推進基本計画改訂版ダイジェストについて（説明・深津）

- ・（案）「生涯学習推進基本計画」改訂版ダイジェストにより説明

ウ その他（説明・深津）

- ・イラスト、写真等は業者に依頼し、委員長に確認後発注。インターネットにて配信

(3) あいさつ

- ・廣瀬教育長

《意見及び質疑応答》

小澤委員

- ・パブリックコメントは、一般の人にはどう対処したらよいか判断しづらいのではないですか。

久野委員

- ・実際パブリックコメントは、いつ頃実施されるのですか。

鈴木部長

- ・計画書の作成や改訂をした最終段階や、比較的に年度代わりする時期に月単位で行う場合が多いです。最近では、総合福祉の関連、環境関連のごみ処理基本計画など生活に密着した内容のパブリックコメントを行いました。生涯学習推進基本計画のパブリックコメントにおいても、生涯学習を広報するという意味で価値があったと評価しています。

谷端委員

- ・パブリックコメントについて、実際どれくらいの割合の人が、読んでくれているのか把握していますか。また、計画書をどこに何部配布しますか。配布後は市民に活用してもらえるような工夫を考えていただきたい。

⇒パブリックコメントを読んでいるかどうかは把握しておりません。計画書のダイジェスト版は2,000部、本書は200部を作成しますが、各戸配布ではなく、各行政区、施設、情報プラザ、近隣市町などに配布します。

久野委員

- ・配布後、計画書がどれくらいの割合で受け取ってもらえかも大切ですが、受け取った人が、生活の中で活用したり、何かの機会に参考にしたりすることが大切です。

東委員

- ・名古屋市での減税、女性会館の廃止、高年者大学の廃止や、東北大震災など社会情勢が厳しい中、みよし市では生涯学習を充実させていく方向であるのに、静かな反応だと感じました。

柴本委員

- ・パブリックコメントの結果は残念でしたが、アンケート方式にして回収すれば、必ず意見が得られると思います。生涯学習は、世代間のつながりが大切です。高齢者と子どもが共に学び合う中で、伝統文化をつなぐことができるのです。

富樫委員

- ・今後の課題として、情報の提供が重要だと思います。ダイジェスト版の中に、実施会場や施設など具体的な生涯学習施設の情報を記載すれば、より多くの人に興味をもって見てもらえるのではないのでしょうか。表紙（案）について、「ふれあい・学びあい・支えあい・響きあい」を皆で推進していくことを主張するならば、車椅子のイラストなどを入れるなどして、障がい者の人への配慮が欲しいと思います。

久野委員長

- ・ダイジェスト版の中に、活動の拠点を示唆する案内を一枚入れるなどしてはどうでしょうか。表紙については、障がい者への配慮をお願いします。
- ⇒ダイジェスト版の内容については、ページを1枚ふやすことは難しいですが、内容を縮小し施設等を掲載できるように検討します。表紙については、イラストを検討します。

久野委員長

- ・ダイジェスト版の表紙に、生涯学習課への検索へのメッセージ、最終ページに、計画書についての問い合わせの連絡先などわかりやすく掲載して欲しいです。
- ⇒検討します。

久野委員長

- ・パブリックコメントでの反応が、少ないことは良い計画書が策定できたことになる。今後配布先、配布方法など人と人を結びつける工夫と努力をお願いします。

谷端委員

- ・転入者に、市民課で既作成のダイジェスト版を渡すことは行っていますか。

久野委員長

- ・大学では、ウェルカムパッケージとして学校案内やサークルの案内を封筒にいれ入学式に新生入生に渡し、情報提供を行っています。できる段階でお願いしたい。

小澤委員

- ・近隣市町の行政の担当者へ配布してはどうでしょうか。インターネットからのダウンロードやアクセス回数の表示も、関心度をあげるためには効果があると思います。
- ⇒ダイジェスト版、本書の配布についてはご意見を参考に検討します。他市町への情報提供は既に行っていますが、今後も充実させていきます。

新谷委員

- ・ダイジェスト版は、全体的にやわらかいイメージに作成されている。ダイジェスト版が、手に取った市民とのコミュニケーションとなるように、市民に向けて生涯学習へ参加の呼びかけメッセージを掲載してはどうでしょうか。

久野委員長

- ・ダイジェスト版を開いてもらうために、表紙の下部分に市民参加を呼びかけるメッセージを表示して下さい。

⇒検討します。

谷端、富樫、柴本委員

- ・表紙のデザインを、生涯学習の仲間づくりをイメージして、人と人が手を取り合って輪を作っているデザインがよいと思います。

久野委員長

- ・皆さんの意見を取り入れ、デザインのイメージを具体的に考えて下さい。

⇒検討します。

東委員

- ・活字だけで計画を推進していくことは難しいので、パブリックコメントデーのようなイベントを企画し市役所やイオンなどで市民参加のイベントを企画するのはどうでしょうか。

久野委員長

- ・生涯学習デーは、全国的にはあるのですか。

⇒ありませんが、みよし市では生涯学習発表会を実施しています。

久野委員長

- ・生涯学習の基盤をささえている計画書があれば、公民館まつりや、既存の行事の実施の継続や、生涯学習の周知や宣伝にもなります。

新谷委員

- ・計画を周知していただくには、利用者、未利用者、もっと知ってもらいたい一般市民の3段階を対象とすることが必要であると思います。

柴本委員

- ・生涯学習発表会時にアンケートを実施してはどうでしょうか。

久野委員長

- ・生涯学習発表会に参加者、見学者に感想を記載していただくこともよいですね。

⇒発表会は3月3日、4日ですが、感想用紙の準備を検討します。

塚本次長

- ・2月13日に開催した連絡調整会議での審議の結果を報告します。

①ご指摘の表紙（案）のイラストの検討し一部を修正しました。

②本文60ページの計画の体系は、ダイジェスト版の表記に変更しました。

③新年度より部の名称変更により「市民協働部」を「協働部」に変更しました。

また、転入者へのダイジェスト版の配布は、生活に直接関係のある資料や情報が優先しますので、事務局にお任せ下さい。

小澤委員長

- ・ダイジェスト版の、「計画の基本理念・基本方針」中の文面「基本理念」の上から6行目「生涯学習推進基本計画の～」の主語がないので、修正してください。

⇒修正します。